

読響 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

思わず涙が込みあげる“家路”の旋律。
熱いリズムと力強い響きが生む、
興奮のフィナーレ!

ドヴォルザーク 華麗なる《新世界》 & 胸に響くシベリウス

シベリウス: 交響詩「フィンランディア」作品26
SIBELIUS: Finlandia, op. 26

シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47
SIBELIUS: Violin Concerto in D minor, op. 47

ドヴォルザーク: 交響曲第9番 ホ短調 作品95 「新世界から」
DVORAK: Symphony No. 9 in E minor, op. 95 "From the New World"

指揮
ヨーン・ストルゴーズ
Conductor: John Storgårds

ヴァイオリン
シモーネ・ラムスマ
Violin: Simone Lamsma

読売日本交響楽団 第209回 土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinee Series No. 209

2018年 8月25日(土) 14時開演

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Saturday, 25th August 2018 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

SY7,500 AY5,500 BY4,500 

読売日本交響楽団 第209回 日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinee Series, No. 209

2018年 8月26日(日) 14時開演

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Sunday, 26th August 2018, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

SY7,500 AY5,500 BY4,500 

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 共催: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

巧みなボウイングと美しい音色で魅了!
欧州で華々しく活躍するオランダの名花

シカゴ響、ニューヨーク・フィル、ベルリン放送響など
世界の一流楽団を指揮するフィンランドの名匠

北欧の名匠が振る、華麗なる《新世界》& オランダの名花が弾くシベリウスの傑作

ジョン・ストルゴーズ (指揮)

John Storgårds, Conductor

クリエイティブな才能を持ち、欧米で活躍するフィンランドの名匠。スウェーデン放送響でコンサートマスターとして活躍した後に、指揮者としてのキャリアを開始した。2008年から15年までヘルシンキ・フィルの首席指揮者を務め、現在はBBCフィルの首席客演指揮者、カナダのオタワ国立芸術センター管の首席客演指揮者などの任にある。これまでに、ベルリン放送響、シカゴ響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ボストン響、フランス放送フィル、BBC響、バーミンガム市響、クリーヴランド管、バンベルク響などに客演したほか、オペラでもフィンランド国立歌劇場などで活躍している。北欧の作曲家を中心にサーリアホ、コリリアーノら現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、録音も多数行っている。

©Marco Borggreve

北欧を代表するフィンランドの名匠ストルゴーズが、読響に初登場し、“お国もの”のシベリウス作品とドヴォルザークの傑作「新世界から」を指揮します。BBCフィルの首席客演指揮者を務めるなど欧米で注目を浴びる名匠が、3つの名曲で華麗なサウンドを響かせます。

1曲目はフィンランドを代表する作曲家シベリウスの代表作「フィンランディア」。フィンランドの人々の民族意識を高め、国の独立のきっかけをつくったと言われる作品です。ロシアの圧政に苦しむ場面が始まり、「フィンランディア讃歌」として有名な美しいハーモニーが奏でられる中間部を経て、最後は自由を勝ち取った雄大な行進曲となり、力強く結ばれます。

2曲目はシベリウスのヴァイオリン協奏曲。ヴァイオリニストを志していたというシベリウスが遺した唯一の協奏曲で、北欧の自然を思わせる静謐で透明感のある旋律や、ほの暗い神秘性と抒情性にあふれた名曲です。この曲では、欧米で活躍するオランダの名花ラムスマがソリストとして登場します。ラムスマは、ロイヤル・コンサートヘボウ管、シカゴ響など欧米の著名楽団と共演しており、今年11月にはニューヨーク・フィルへデビューするなど勢いに乗っている名手です。長い腕で繰り出す柔らかなボウイングと艶やかな音色で、作品から熱いドラマを生み出します。

後半に演奏するのはドヴォルザークの交響曲第9番「新世界から」。数ある交響曲の中でも最も有名な作品の一つで、今も世界中で愛されています。チェコの作曲家ドヴォルザークがアメリカのニューヨークに渡って作曲したもので、次々と出てくるメロディはどれも美しく印象深いものばかり。第2楽章の旋律は、日本では「家路」のテーマとして親しまれています。名匠ストルゴーズが練達のタクトでオーケストラを巧みにリードし、快活なリズムをドラマティックに響かせます。華麗なサウンドが、会場を温かく包み込むでしょう。



©Otto van den Toorn

シモーネ・ラムスマ (ヴァイオリン)

Simone Lamsma, Violin

ニューヨーク・フィルの次期音楽監督ズヴェーデンから「世界をリードするヴァイオリニスト」と絶賛され、欧米の著名楽団から次々と招かれているオランダの名花。メニューイン音楽院と英国王立音楽院で学び、インディアナポリス国際コンクールなど多くのコンクールで入賞。これまでに、マリナー、ヤノフスキ、ピエロフラーヴェク、ユロフスキ、ネゼ＝セガンらの指揮でロイヤル・コンサートヘボウ管、シカゴ響、クリーヴランド管、フランクフルト放送響、ロンドン・フィルなどと共演している。昨年は、ロンドンのウィグモア・ホールとニューヨークのカーネギーホールでリサイタル・デビューを果たした。チャレンジ・クラシックスからリリースされたCDも高い評価を得ている。使用楽器は、1718年製のストラディヴァリウス「ムイナルスキ」。

読売日本交響楽団 第209回 土曜マチネーシリーズ

2018年 **8月25日** (土) 14時開演

S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C **¥3,000**

読売日本交響楽団 第209回 日曜マチネーシリーズ

2018年 **8月26日** (日) 14時開演

S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C **¥3,000**

東京芸術劇場 コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【観客注意】東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306 (予約受付: 平日9時-17時)

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296